〈隷書〉



清原大龍先生書

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

半折作品は各課目ごとに横1/8に一枚ずつたたんで提出ください。

〈楷書〉



山本飛雲先生書

□緑樽須らく日を尽くすべし（唐・杜甫）

次号予告「自然風月情無盡　如在山林樂未央」

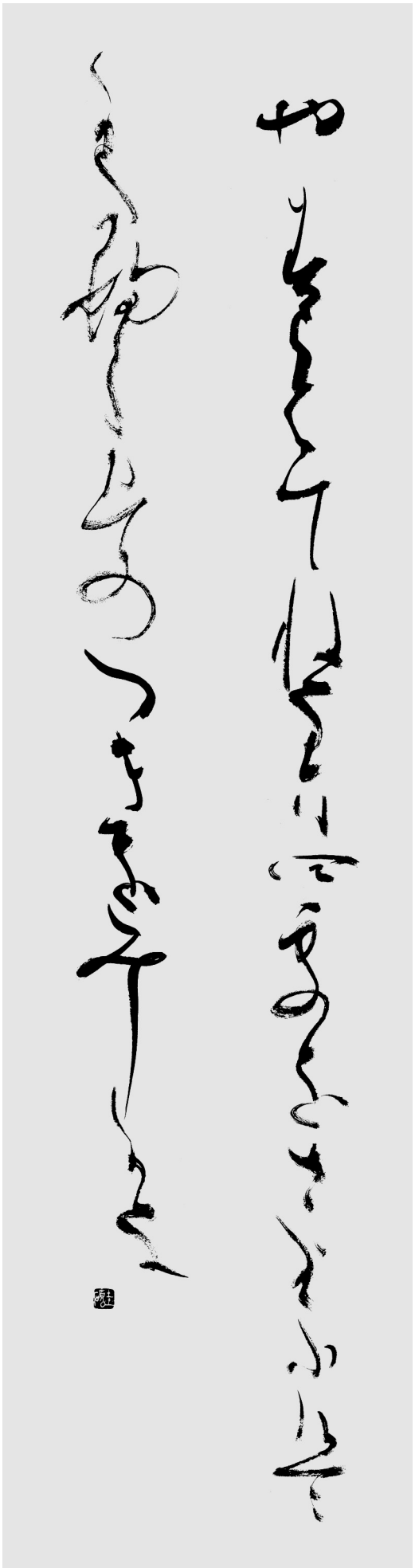
〈行　書〉



井之上　南岳先生書

▽清酒の酒樽で一日を遊びつくすがよい。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



舟尾圭碩先生書

□や春ら者(すは)て　ねな万四(まし)ものを　さよふ介(け)て　可多婦(かたふ)く万(ま)ての　つきをみし可(か)な　〈百人一首　五十九〉

やすらはて　寝なましものを　さ夜ふけて　かたふくまでの　月をみしかな

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）



▽張猛龍碑

吉田成美先生臨

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



吉田成堂先生書

□吉井勇のうた　沙羅双樹（さらそうじゅ）　ありとし聴けば　比叡（ひえ）の嶺は　いよよかしこし　日毎仰（ひごとあお）がむ

≪手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。≫

半折作品は各課目ごとに横1/8に一枚ずつたたんで提出ください。

条幅随意参考手本（半折½縦のみ）　―１月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



□ 恩田皓充（ひろみつ）の句　鉛筆で　少し書き足す　春の海

ポイントに程良く漢字が配布できる句を選んでみました。かなが少ないので、「す」や「の」で少し主張してみてください。

小　畠　秋　聲　先　生　書

条幅随意参考手本（半折½縦のみ）　―１月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



□樂　壽　長いよわいを楽しむ。寿を楽しむ。
筆のリズム、余白、文字の大小に気をつけて書きましょう。

廣　瀬　蘇　水　先　生　書

半紙規定参考手本　　―1月末日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）



□歓言（かんげん）して春酒（しゅんしゅ）を酌（く）む（晋・陶淵明）
談笑して春できた酒を酌み交わす。友を迎える喜び。

次号予告「江路野梅香」

吉　田　成　美　先　生　書

半紙規定参考手本　　―1月末日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）



□歓言（かんげん）して春酒（しゅんしゅ）を酌（く）む（晋・陶淵明）
談笑して春できた酒を酌み交わす。友を迎える喜び。

次号予告「江路野梅香」

吉　田　成　美　先　生　書

半紙随意参考手本　　―1月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

□東風解凍　東風凍を解く（礼記）

春の到来。春風が氷を溶かす。



渡邉大嶽先生書

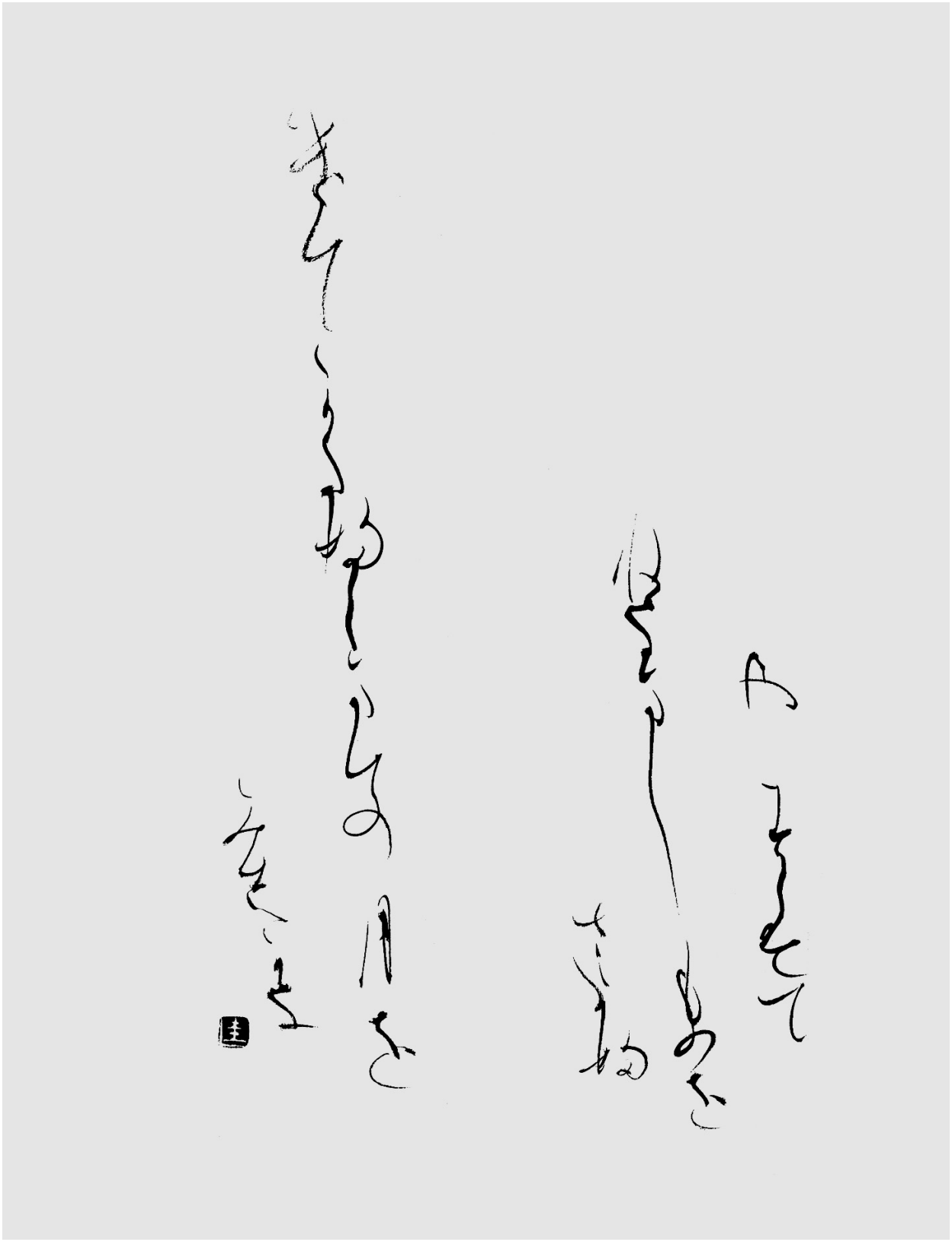
次号予告「曲不藏直」

半紙随意参考手本　　―1月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

〈仮名〉

やすらはて　寝なましものを　さ夜ふけて　かたふくまでの　月をみしかな



□や春ら盤て　ねな万しものを　さよ婦遣て　可多婦く万ての　月をみ志可な

舟尾圭碩先生書

半紙随意参考手本　—1月末日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



△詩文書▽

夏目漱石の句　手習(てならい)や　天地玄黄(てんちげんこう)　梅(うめ)の花(はな)

※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。（ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください）

西谷芝蘭先生書

半紙随意（臨書）参考手本　　―1月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）



「臨羌都尉平西」

〈臨　書〉　直線的な方筆と躍動感のある筆勢を意識して書こう。

吉　田　成　美　先生臨

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―1月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

〈実用書〉

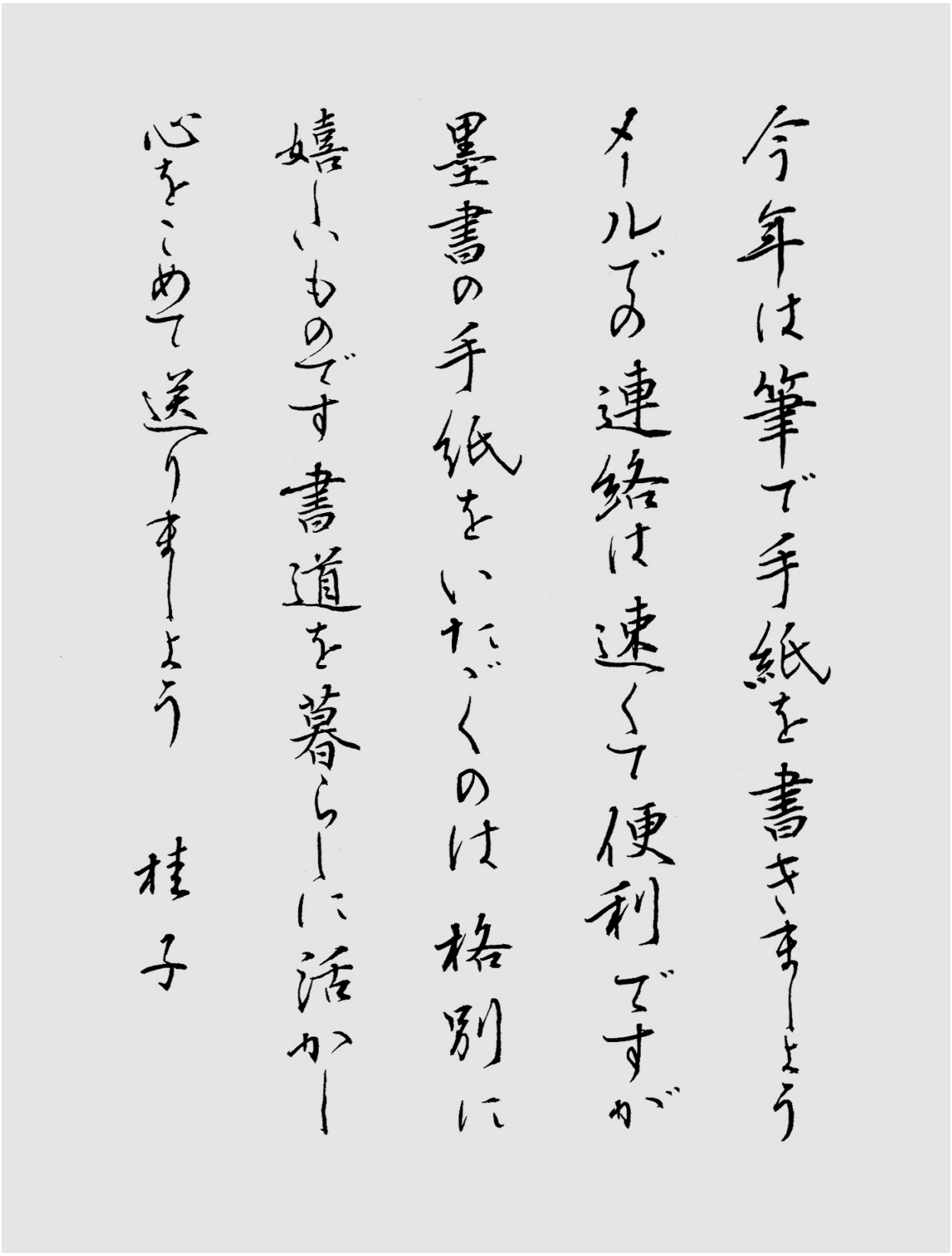
北海道　青森　岩手　宮城　秋田　山形
福島　茨城　栃木　群馬　埼玉　千葉



秋　永　春　霞　先　生　書

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―1月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



〈手紙文〉

今年は筆で手紙を書きましょう　メールでの連絡は速くて便利ですが　墨書の手紙をいただくのは格別に嬉しいものです　書道を暮らしに活かし　心をこめて送りましょう

桂子

大　坪　桂　子　先生書

一般硬筆部参考手本＜B＞ —1月末日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

〈暮らしに役立つ書〉

書譜

開もなく、お店のオープンから一年が過ぎますね。一周年、おめでとうございます。

季節毎に変わる地元野菜中心のメニューは、心と体に優しく、何度足を運んでも飽きることなく楽しめます。

厳しい寒さはまだ続きそうです。スタッフの皆様にはご自愛のよ、これからも私たちの舌を楽しませてください。

菜美

罫のある便箋に書いてみよう。〈26cm×18cm〉紙質は自由。

- 美しい文字を書くために必要なことはたくさんありますが、“美しい姿勢”も大切です。自分では見えませんので、お稽古仲間で確かめ合ったり、写真に撮ったりして、書き姿を確認してみましょう。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵頭白慧先生書

学生部条幅¼　参考手本　　―1月末日締切―



ようねん・小学1年　小学2年　小学3年　小学4年



小学5年　小学6年　中学1年　中学2・3年

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

秋永春霞先生書

〈条幅¼＝四尺画仙紙半折¼…68cm×17・5cm〉

学生部規定手本　—1月末日締切—

ようねん・小学一年



□「ね」の〝むすび〟は、ふでだけをまわさないように気をつけましょう。

次号予告「ひ　な」

小学二年



□書き始めは、筆の先をきれいにととのえてから、元気よくのびやかに書きましょう。

次号予告「うぐいす」

坂元紫香先生書

小学三年



□文字の中心に気をつけながら、線の方向や強さ、〝はね〟・〝はらい〟を伸びやかに書こう。

次号予告「花まつり」

小学四年



□「雪」の上下のバランスに注意し、ひらがなは、懐(ふところ)を広く明るく書きましょう。

次号予告「立　春」

吉田成美先生書

学生部規定手本　—1月末日締切—

小学五年



□平仮名はや、小さめにし、「新・光」は最終画をのびのびとバランス良く書きましょう。

次号予告「勇　気」

小学六年



□上下の文字のバランスに気をつけ、〝払い〟をのびやかに書きましょう。

次号予告「親切な心」

秋永春霞先生書

中学一年



□古典を意識した楷書です。始筆・終筆・線の方向や長短・強弱に注意しょう。

次号予告「出　発」（行書）

中学二・三年



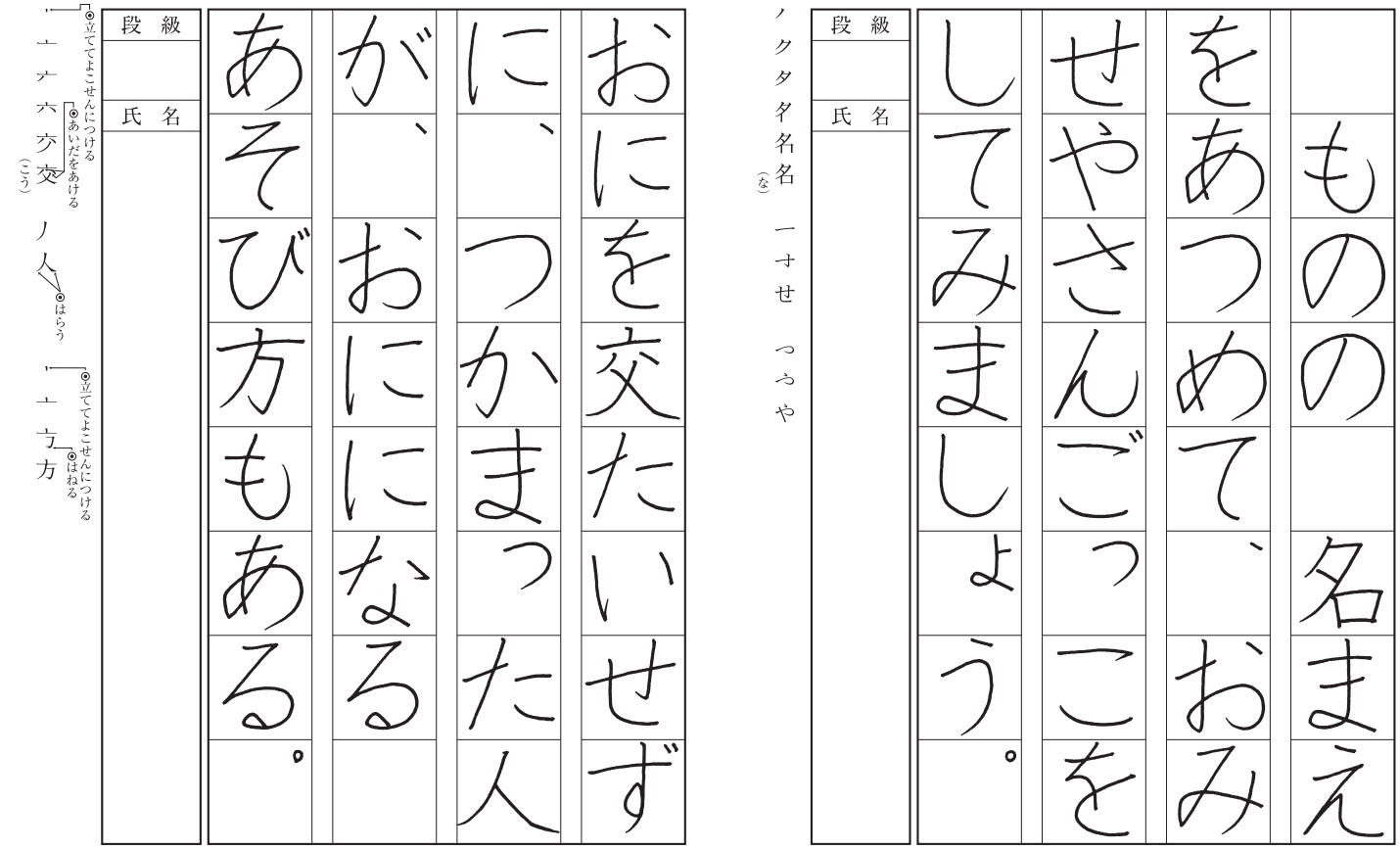
□〝トメ〟・〝ハネ〟・線の強弱を意識し、文字の中心や行の中心にも注意し、流れのある作品にしよう。

次号予告「歴史に学ぶ」（行書）

吉田成美先生書

硬筆部規定手本　—1月末日締切—

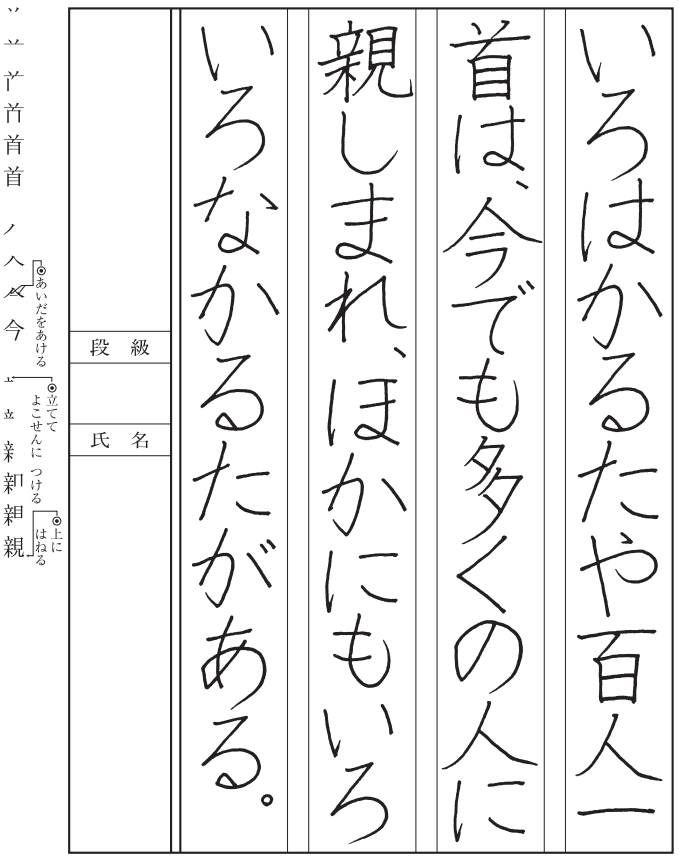
ようねん・小学一年



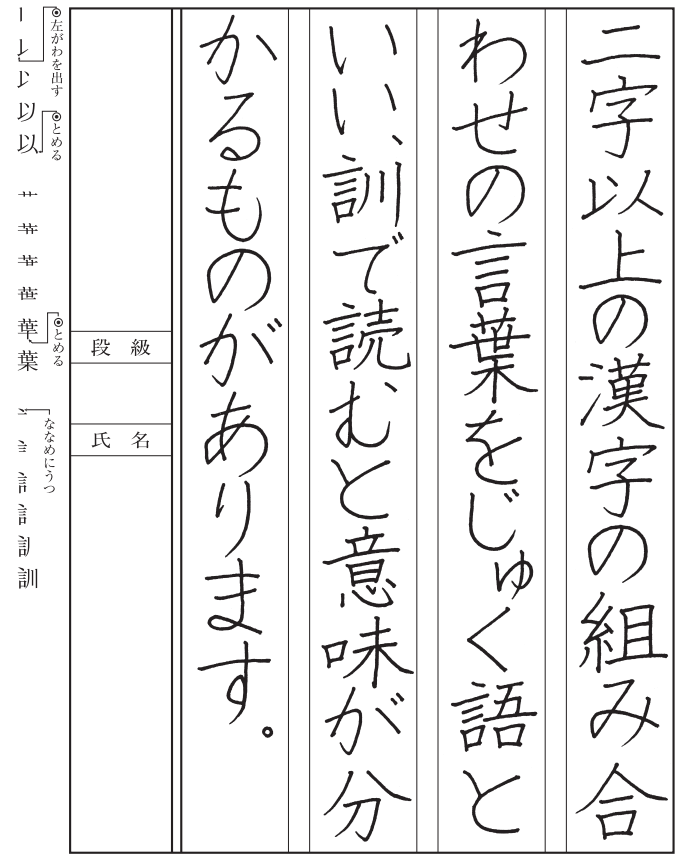
小学二年

坂元紫香先生書

小学三年



小学四年



坂元紫香先生書

硬筆部規定手本　—1月末日締切—

小学五年

どうしたら、古代の人々に負けないものをつくれるのか。一流の職人たちが日本じゅうから総動員された。建物をつくる宮大工。かわらを作るかわら職人。

段級
氏名

小学六年

暮らしが変わると、古い言葉は使われなくなりますが、複合語として使い続けられることもめずらしくありません。「花ごよみ」など、今も使っているでしょう。

段級
氏名

小畠秋聲先生書

中学

春先、もうまもなく花となって咲き出でようとしている桜の木が、花びらだけでなく、木全体で懸命になって最上のピンクの色になろうとしている姿が、私の脳裏に揺らめいた。

段級
氏名

一般（A）

「大人」の定義は多彩だ。「二十歳」は明治の平均寿命や、精神的成熟からはじいたそうだ。今や寿命は延び、物心共に親がかりの歳月も延びている。三十歳までが未成年という声も聞こえる。

段級
氏名

（この課目はA・Bいずれか一点のみとする）

※142%拡大で原寸大になります。

小畠秋聲先生書